

Pioneer



MD レコーダブル/CD/チューナー・DSP
メインユニット

FH-P77MDR

取扱説明書

carrozeria

目次 4 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

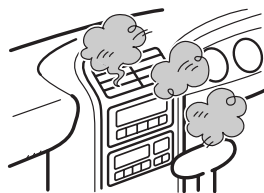
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- | | | |
|---|---------------------------|----|
| 1 | 各部のなまえ | 6 |
| 2 | 本機の操作の基本 | 8 |
| 3 | リモコンの準備 | 10 |
| 4 | バッテリー上がりを防ぐために | 10 |
| 5 | ミュート機能について | 11 |
| 6 | 本機のリセットについて | 11 |
| 7 | フロントパネルの角度を調節する | 12 |
| 8 | 「CD TEXT」について | 13 |
| 9 | 50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について | 13 |

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ | 14 |
| 2 | CDのふだんの操作
CDを再生する
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
CDを取り出す | 16 |
| 3 | MDのふだんの操作
MDを再生する
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
MDを取り出す | 18 |
| 4 | ラジオのふだんの操作
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
音量を調節する | 20 |
| 5 | マルチCDのふだんの操作
CDを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する | 22 |

CD/MD

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

- | | | |
|---|------------------------------|----|
| 1 | 演奏方法を切り換える | 24 |
| 2 | 詳細設定モードの切り換えかた | 25 |
| 3 | MDのタイトルを記憶させる | 26 |
| 4 | MDのタイトルを表示させる | 28 |
| 5 | CDのタイトルを表示させる | 30 |
| 6 | 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる | 31 |

ラジオ

ラジオを聞く

- | | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | 放送局を1局ずつ記憶させる | 32 |
| 2 | 記憶させた放送局を呼び出す | 33 |
| 3 | モードの切り換えかた | 34 |
| 4 | 複数の放送局を自動的に記憶させる | 35 |
| 5 | 2つのアンテナでFM放送を受信する | 35 |
| 6 | 放送局名を選ぶ | 36 |
| 7 | 放送局名を表示させる | 37 |

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|------------------------------|----|
| 1 | 聞きたいCDを直接選ぶ | 38 |
| 2 | モードの切り換えかた | 38 |
| 3 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 40 |
| 4 | 聞きたい曲やCDをさがす | 41 |
| 5 | いつもと違う曲順で聞く | 42 |
| 6 | 聞きたい曲だけ記憶させておく | 43 |
| 7 | 記憶させた曲だけ再生する | 44 |
| 8 | 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す | 45 |
| 9 | 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す | 45 |
| 10 | CDのタイトルを記憶させる | 46 |
| 11 | CDの音質を調整する | 48 |
| 12 | CD再生を一時停止する | 49 |
| 13 | タイトルを見て聞きたいCDをさがす | 49 |
| 14 | CDのタイトルを表示させる | 50 |
| 15 | 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる | 50 |

録音

録音する

- | | | |
|---|--------|----|
| 1 | 録音する前に | 52 |
|---|--------|----|

C O N T E N T S

2	内蔵CDからCDを録音する	54
3	ラジオ/テレビを録音する	56
4	マルチCD/MDからCD/MDを録音する	58
5	曲を消去する	60

音の調節

音を調節する

1	瞬時に音量を小さくする	62
2	オーディオ調節モードの切り換えかた	62
3	前後左右の音量バランスを調節する	63
4	小音量時の音にメリハリをつける	63
5	各ソースの音量の違いをそろえる	64

DSP調節

音場と音質を調節する

1	DSP調節モードの切り換えかた	66
2	音場の中心で聞く	68
3	音楽に合った音質を設定する	70
4	イコライザーカーブをだまかに補正する	71
5	イコライザーカーブを細かく調節する	72
6	低い音をスピーカーから 出力させないようにする	74
7	イメージに合った演奏会場を再現する	75
8	サブウーファーを使う	76

便利な機能

便利な機能と初期設定

1	交通情報を受信する	78
2	時計、カレンダーを表示させる	79
3	ディスプレイの明暗を調節する	79
4	初期設定モードの切り換えかた	80
5	時計を合わせる	81
6	日付を合わせる	81
7	RCA外部出力から 出力される信号を選ぶ	82
8	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	82
9	外部機器の音声を聞く	83
10	外部機器の名称を入力する	83
11	音の歪みを補正する	84
12	スペアナ表示を切り換える	84
13	ディスプレイの色を切り換える	85

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここだけ読めば
すぐ使えます

はじめに

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

録音する

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

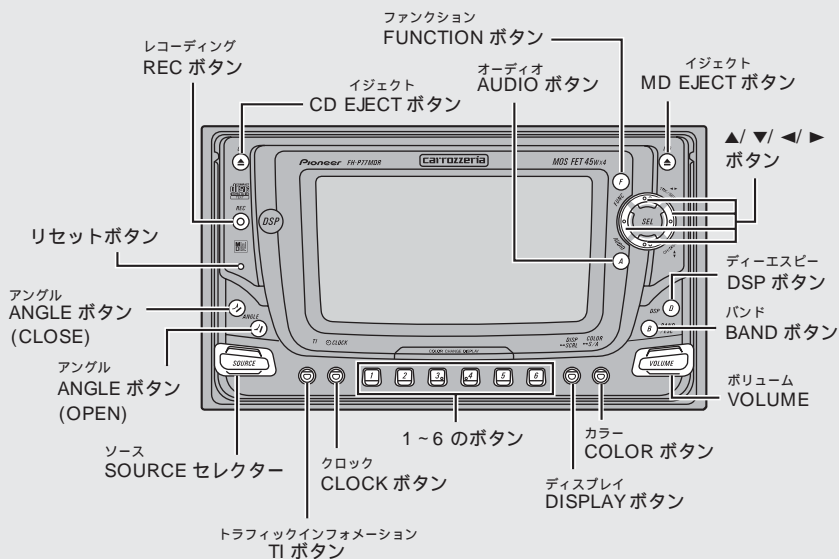
その他

その他 (付録)

1	CDの正しい使いかた	86
2	MDの正しい使いかた	88
3	保証書とアフターサービス	89
4	故障かな?と思ったら	90
5	こんなメッセージが表示されたら	92
6	おもな仕様	98

はじめに
1 各部のなまえ

本体 (クローズ時)

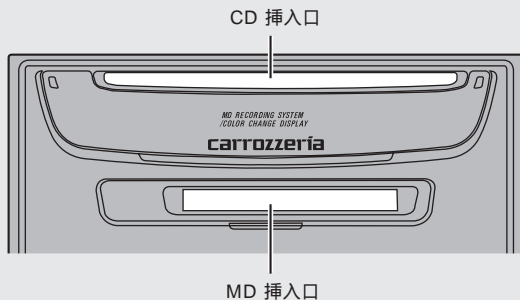


デモモードについて

電源がOFFのときに6ボタンを押す
(もう一度押すと終了)
ディスプレイ上にデモンストレーションが表示されます。

本体 (オープン時)

ANGLE (OPEN) ボタンを2秒以上押すと、フロントパネルが完全に開きます。

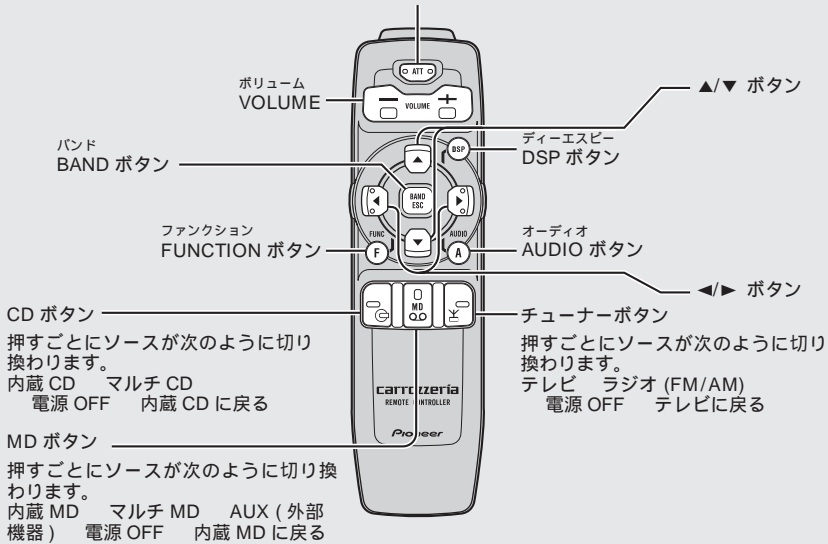


リモコン

各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ働きをします。
 CD、MD、チューナー、およびATTボタンは、リモコンだけに付いているボタンです。

アッテネーター
 ATTボタン (音の調節 ① 62 ページ)

押すごとにアッテネーターがON/OFFします。
 アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。



メモ

接続していないソースには切り換わりません。
 CDやMDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
 AUX (外部機器) の設定 (便利な機能 ⑨ 83 ページ) をONにしないと、AUXには切り換わりません。

本機の操作の基本

本機を操作するときに、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いている ソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMDを接続して いる場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BANDボタン	—————	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには6つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	DSP調節 モード1、2
1	それぞれの モードにする	FUNCTION ボタンを 押す。	FUNCTION ボタンを 2秒以上 押す。	電源OFFの ときに FUNCTION ボタンを2 秒以上押す。	AUDIO ボタンを 押す。	DSPボタンを 押す。 または2秒以上 押す。
2	機能を切り換える	FUNCTIONボタンを押す。			AUDIOボタン を押す。	DSPボタンを 押す。
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ボタンを押す。				▲/▼/◀/▶ ボタンを押す。 (選択または調節)
		◀または▶ボタンを押す。				
4	それぞれの モードを解除する	BANDボタンを押す。				

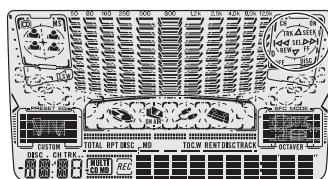
それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : CD/MDのリピート再生 (☞ CD/MD① 24ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD④41ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : MDのタイトル入力 (☞ CD/MD⑤ 26ページ) やラジオの放送局名選択 (☞ ラジオ⑥ 36ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (☞ 便利な機能⑨ 83ページ) やデイマー (☞ 便利な機能⑩ 82ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (☞ 音の調節④ 63ページ) など、音に関する調節ができます。
- DSP調節モード1,2 : グラフィックイコライザー (☞ DSP調節③ 70ページ) などの音場と音質に関する調節ができます。

はじめに

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、DSP、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。また、FUNCTION ボタンで機能を切り換えることができます。
	▲または▼ ボタンで機能のON/OFFができます。また、AUDIO ボタンで機能を切り換えることができます。
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。また、DSP ボタンで機能を切り換えることができます。

はじめに

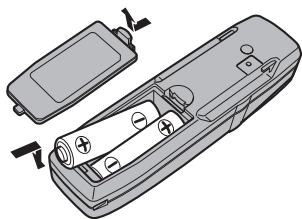
3

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

裏フタを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は、充電しないでください。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

メモ

誤ってリモコンのBANDボタンを押しながらFUNCTIONボタンを押してしまうと、ATTボタン、DSPボタン、VOLUMEが働かなくなります。この場合、リモコンのBANDボタンを押しながらAUDIOボタンを押すと、元に戻ります。

はじめに

4

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9000」など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”になります。

ミュート機能が解除されると、自動的に、もとの音量に戻ります。

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

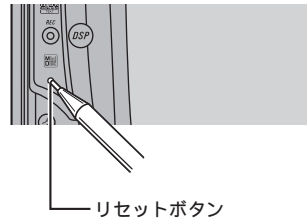
リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

ご注意

本機をリセットする前に、フロントパネルを完全に閉めておいてください。（CDやMDを挿入口に差したままにしないでください。）

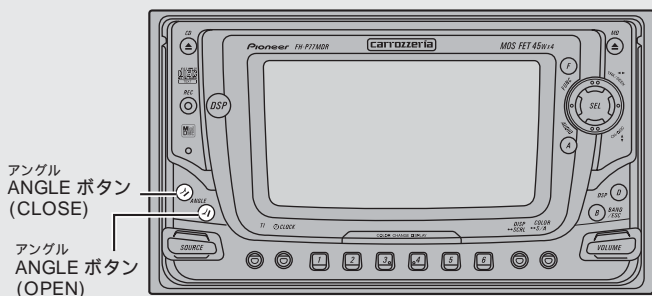
7 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



メモ

フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。



はじめに 7 フロントパネルの角度を調節する

角度調節

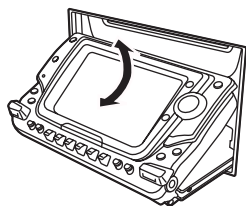
フロントパネルの角度を調節して、ディスプレイを見やすくしたり、操作をしやすくすることができます。

1 フロントパネルの角度を調節する

ANGLE (OPEN/CLOSE) ボタンを押す

OPEN : ボタンを押すごとにフロントパネルが傾きます。2秒以上押すと、全開します。

CLOSE : ボタンを押すごとにフロントパネルが立ち上がります。2秒以上押すと、完全に閉まります。



ご注意

角度の調節は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。

CDやMDを挿入口に差したままにしないでください。フロントパネルを閉められなくなります。

メモ

フロントパネルの角度は、12段階に調節することができます。

ANGLE ボタンを押してCD EJECT 位置に調節すると、CD挿入口にライトが付きまます。レンタル録音 (録音 54 ページ) するときには、この位置に調節しておくとう便利です。

車のACC (アクセサリー) 電源をOFFにすると、約6秒後にフロントパネルが閉じます。もう一度ONにすると、元の位置に戻ります。(ただし、安全のために、全開位置には戻りません。)

リモコンの取付位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うとリモコンでの操作が効かなくなることがあります。このようなときは、リモコンを本機に近づけて操作してください。

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

はじめに

8

「CD TEXT」 について

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



はじめに

9

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合 のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE セレクターを上下に押す
SOURCE セレクターを上下に押すごとに、
次のように切り換わります。

AUX (外部機器) (別売) ¹

External1 (エクスターナルユニット)
(別売) ²

External2 (エクスターナルユニット)
(別売) ²

マルチ CD (別売)

マルチ MD (別売)

内蔵 MD

ラジオ (FM/AM)

テレビ (別売)

内蔵 CD

電源 OFF

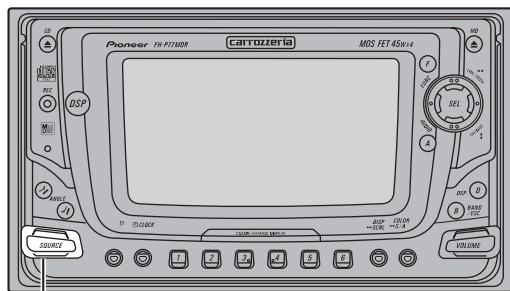
メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CD や MD がセットされていないときは、その
ソースには切り換わりません。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側の
オートアンテナのコントロール端子を接続してい
る場合、ソースをラジオにすると車に装備され
ているオートアンテナがのびます。

¹AUX (外部機器) の設定 (☞ 便利な機能⑨ 83
ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わり
ません。

² External (エクスターナルユニット) とは、本機
がソースとして対応していないパイオニア製品
(将来発売される製品など) の基本的な機能をコン
トロールできるように用意している特別なソース
です。本機では、2台の External (エクスターナ
ルユニット) をコントロールすることができます
が、External1、External2 のどちらに切り換えて
も “External” が表示されます。2台の External
(エクスターナルユニット) を接続した場合、本機
によって、External1、External2 が自動的に設定
されます。



ソース
SOURCE セレクター

テレビ、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7000W」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

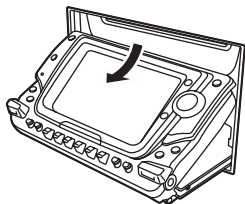
ここだけで **2** CD のふだんの操作

CD を再生する 曲を選ぶ

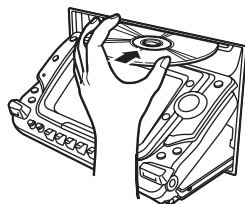
ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

CD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



タイトル面を上にして、CD 挿入口に差し込む



自動的にフロントパネルが閉まり、CDの再生が始まります。

ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

「CD TEXT」を再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

タイトル入力 (CD/MD) 30 ページ) したCDを再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。



2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」を再生している場合は、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

! 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

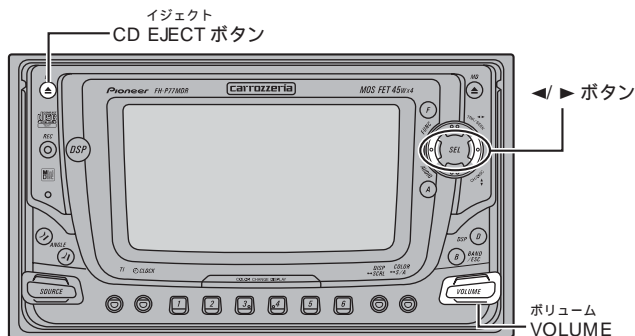
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CD を取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

VOLUME を上または下に押す

上に押す：大きくするとき
下に押す：小さくするとき

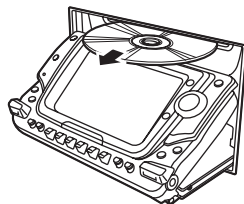


音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出してCD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

フロントパネルが開き、CDが出てきて、
電源がOFFになります。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

もう一度CD EJECT ボタンを押して、
フロントパネルを閉める
フロントパネルが閉まります。

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオやMDなど）に切り換えることもできます。（ ここだけで 14 ページ）

ここだけで MD のふだんの操作

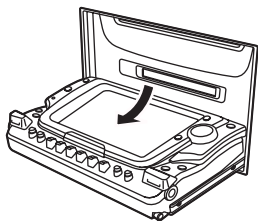
3

MD を再生する 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵の MD プレーヤーで MD を聞くことができます。

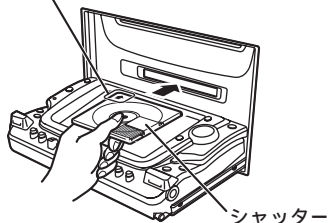
1 MD を再生する

MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



ラベル面を上にして、MD 挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



確認

MD のシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

自動的にフロントパネルが閉まり、MD の再生が始まります。

MD をセットしたときや、他のソースから内蔵 MD に切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。



本機では、内蔵 CD やラジオ、マルチ CD などから MD に録音することができます。録音のしかたについては (E) 録音 ① ~ ⑤ 52 ~ 61 ページ)

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

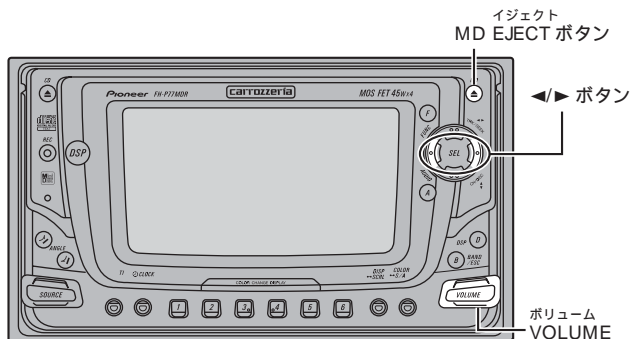
曲を選んだときに、曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

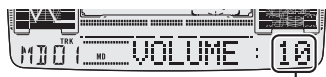


3 音量を調節する

VOLUME を上または下に押す

上に押す：大きくするとき

下に押す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

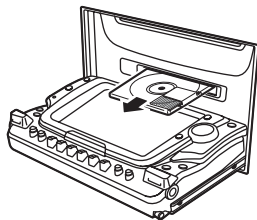
メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやCDなど)に切り換えることもできます。(P.14) **ここだけで** 14 ページ
ディスクタイトルおよび曲名が入力されていないMDのときは、“NO D-DATA” および “NO TR-DATA” が表示されます。

4 MDを取り出してMD再生をやめる

MD EJECT ボタンを押す

フロントパネルが開き、MDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

もう一度MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを閉める
フロントパネルが閉まります。

ここだけで **4** ラジオのふだんの操作

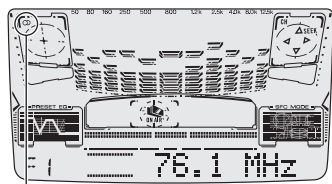
バンドを選ぶ 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを
ラジオにする

SOURCE セレクターを上下に押して
選ぶ

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを
選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが
切り換わります。



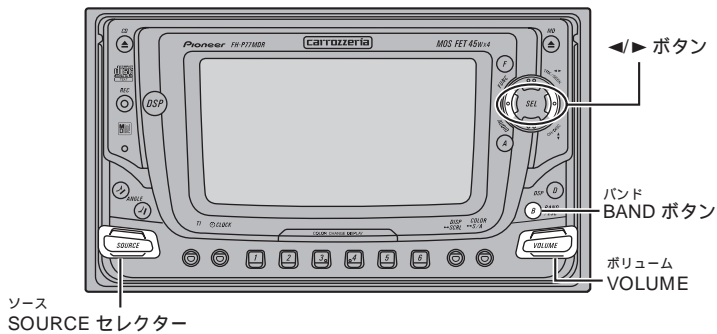
F1 (FM1) F2 (FM2)

A2 (AM2) A1 (AM1)

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶でき
ます。(ラジオ④ 32、35ページ)

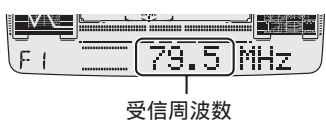
バンド1とバンド2を切り換えて使うこ
とでより多くの放送局を記憶できます。
例えば、バンド1にはふだんよく聞く放
送局を記憶させておきます。旅行先な
ど、どんな放送局があるのか知らない地
域に行ったときに、バンド2に切り換え
てBSMを使うと、バンド1に記憶させ
た放送局はそのまま使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



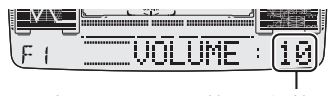
選局方法の使い分け	
手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

- VOLUMEを上または下に押す
- 上に押す: 大きくするとき
- 下に押す: 小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E 23) ここだけで① 14ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCEセレクターを上下に押し
て選ぶ

マルチCDの再生が始まります。



「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

タイトル入力 (E5) マルチCD⑩ 46ページ)したCDを再生する場合は、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



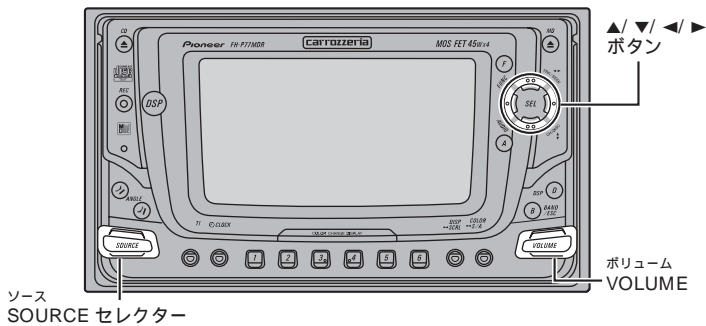
CD番号

メモ

マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。

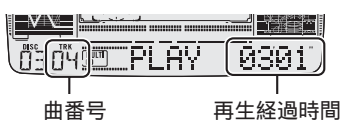
マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO.MAGAZINE」が表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け	
聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P650」など)に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

4 音量を 調節する

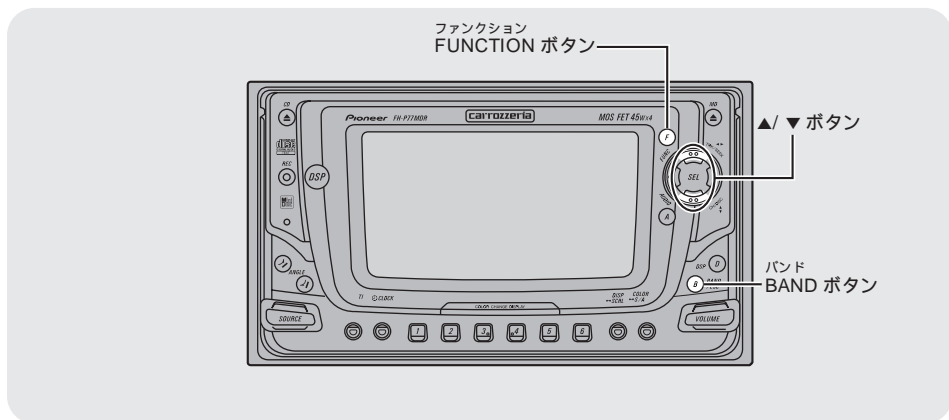
VOLUMEを上または下に押す
上に押す:大きくするとき
下に押す:小さくするとき



音量は0~40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E3) ここだけで① 14ページ)



CD/MD

1

演奏方法を切り換える

内蔵のCD/MDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

ランダムモード

トラックスキャンモード

ポーズモード

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

2

選んだ演奏方法をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

詳細設定モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードについて

リピートモード (REPEAT)

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

ランダムモード (RANDOM)

選曲を内蔵CD/MDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

トラックスキャンモード (T.SCAN)

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々と再生していきます。聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにしてください。(スキャン再生を始めて約30秒たつと、ファンクションモードが自動的に解除されます。この場合、再度トラックスキャンモードに切り換えてから、スキャン再生をOFFにしてください。)

ポーズモード (PAUSE)

CD/MD再生を一時停止します。

メモ

スキャン再生は、スキャン再生を始めた曲まで戻ると、自動的に解除されます。

1

詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2

詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ディスクタイトル入力モード

( CD/MD  26、30 ページ)



トラックタイトル入力モード ¹

( CD/MD  27 ページ)

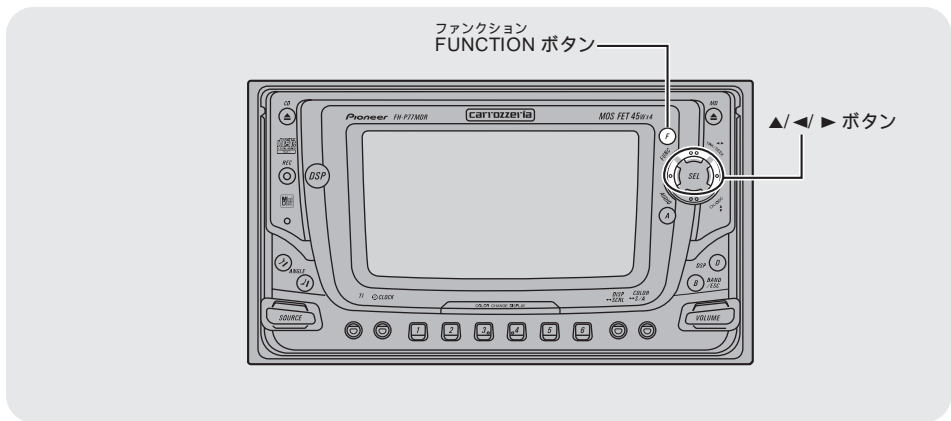
ディスクタイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

ソースが内蔵MDのときに、MDの誤消去防止つまみ ( 録音  52 ページ) が開いていると、詳細設定モードに切り換わりません。

¹ ソースが内蔵CDのときは、トラックタイトル入力モードには切り換わりません。



CD/MD 3 MDのタイトルを記憶させる タイトル入力

MDのタイトルを表示 (☞ CD/MD 4 28 ページ) させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

チェック 内蔵MDの機能です。

MDのタイトル入力について

タイトル入力は、MDのディスクタイトルおよびトラックタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

- タイトルは10文字まで入力できます。
- ブランクディスク (曲が録音されていないMD) には、タイトル入力できません。
- 再生専用MDには、タイトル入力できません。

誤消去防止つまみ (☞ 録音 1 52 ページ) を開いているMDには、タイトル入力できません。

ありえない濁点および半濁点は、タイトルを記憶したときに、自動的に削除されます。

すでに入力されているタイトルが11文字以上あるときに、本機で入力すると、11文字目以降は削除されてしまいます。

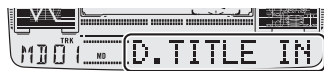
ディスクタイトルを入力するとき

1 タイトルを入力したいMDを再生する

(☞ ここだけで 18 ページ)

2 ディスクタイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ 内蔵CD/MD 2 25 ページ)



約2秒間表示されます。

3 ディスクタイトルを入力する

(☞ マルチCD 10 46 ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作でMDのタイトルを入力してください。

トラックタイトルを入力するとき

1 タイトルを入力したいMDを再生する

(☞ ここだけで③ 18ページ)

2 トラックタイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ 内蔵CD/MD② 25ページ)



約2秒間表示されます。

3 タイトルを入力したい曲を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき

◀ : 前の曲を選ぶとき



選んだ曲番号が表示されます。

4 トラックタイトルを入力する

▲ ボタンを押す

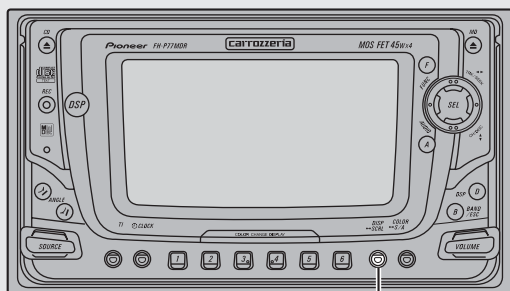


トラックタイトル入力画面になります。

CDタイトル入力 (☞ マルチCD⑩ 46ページ) の手順3～5を参照し、同様の操作でMDのタイトルを入力してください。

メモ

トラックタイトル入力中に次の曲になっても、入力中のトラックタイトルは手順3、4で選んだ曲に記憶されます。



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

CD/MD
4

MDのタイトルを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

再生経過時間以外に、ディスクタイトルやトラックタイトル (曲名) を表示させることができます。一度に10文字まで文字表示することができます。また、タイトルが10文字を超えている場合は、隠れている文字も順に表示 (スクロール表示) させることができます。

チェック 内蔵MDの機能です。

タイトル表示について

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字などがそのまま表示されます。

表示をディスクタイトルおよびトラックタイトル (曲名) に切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAYボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
再生経過時間表示

ディスクタイトル表示

トラックタイトル (曲名) 表示

再生経過時間表示に戻る

例) ディスクタイトル表示



メモ

ディスクタイトルおよびトラックタイトル (曲名) が入力されていないMDで表示を切り換えると、“NO D-DATA” および “NO TR-DATA” が表示されます。

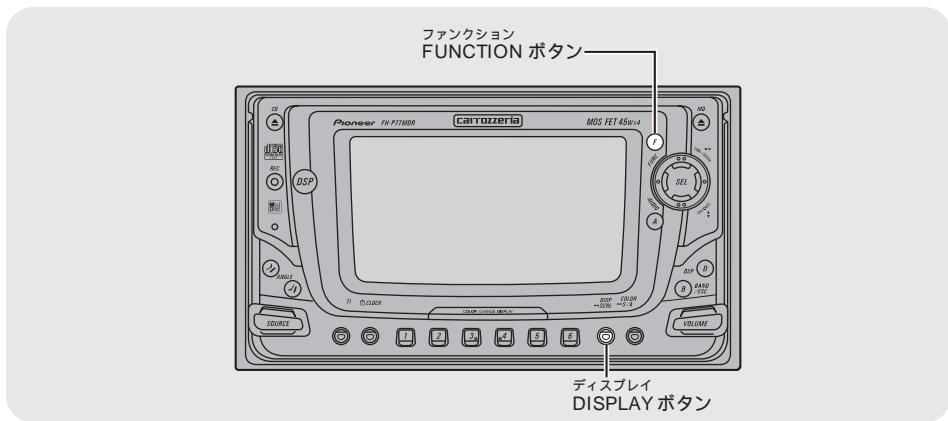
隠れているタイトルを表示する

1 隠れているタイトルを表示する (スクロール表示)

DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。



CD/MD 5 CD のタイトルを表示させる タイトル表示

CDのタイトルを表示させることができます。

チェック 内蔵CDの機能です。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶のしかたは、マルチCDと同じです。(※ マルチCD⑩ 46ページ)

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」を再生したときのタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。(※ マルチCD⑩ 50ページ)

タイトルを入力するとき

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(※ ここだけで② 16ページ)

2 ディスクタイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ(※ CD/MD② 25ページ)

ご注意

「CD TEXT」には、タイトルを入力することはできません。そのため、「CD TEXT」を再生中に手順2の操作を行っても、タイトル入力モードには切り換わりません。

3 CDタイトルを入力し、記憶させる

(※ マルチCD⑩ 46ページ)

マルチCDのタイトル入力の手順3～5を参照し、同じ操作で記憶させてください。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル表示

再生経過時間表示に戻る

例) ディスクタイトル表示



入力したタイトル

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

CD/MD

6

「CD TEXT」のタイトル
や歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

本機に「CD TEXT」をセットしたとき、トラックタイトルや歌手名などを表示させることができます。一度に10文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

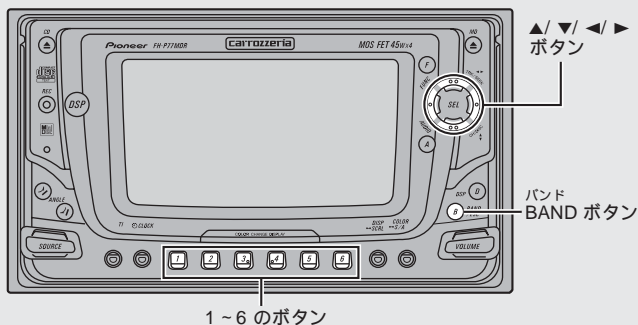
チェック 内蔵CDの機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトルの表示のしかた、隠れているタイトルの表示のしかたは、マルチCD (E38 マルチCD 51ページ) と同じです。



ラジオ 1 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 20ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 21ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

( ここだけで④ 20 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

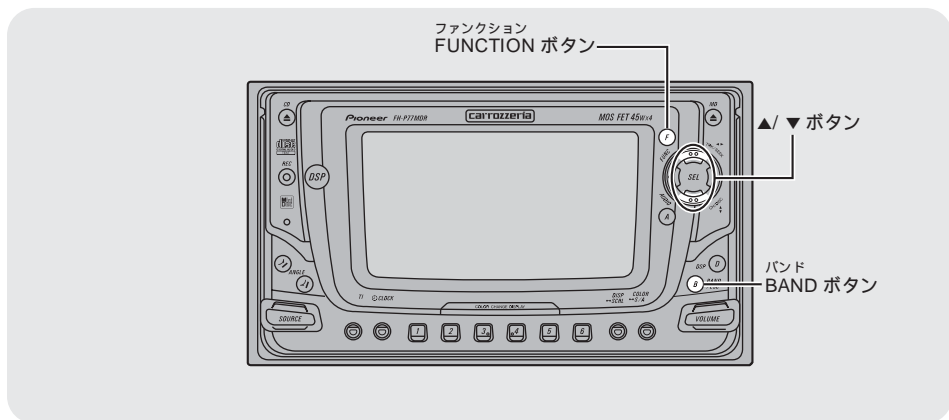
▲または▼ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



ラジオ 3 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す
BSM モードになります。
(ラジオ④)

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名選択モード
(ラジオ⑥ 36 ページ)

ダイバーシティ設定モード
(ラジオ⑤)

放送局名選択モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
( ここだけで④20ページ)

2 BSM モードにする

FUNCTION ボタンを押す
( ラジオ①)



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると、点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。




受信中の記憶番号

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには ( ラジオ② 33ページ)

2つのアンテナでFM放送を受信する

FMダイバーシティ

FMダイバーシティをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。

FMダイバーシティについて

FMダイバーシティは、FM放送を2つのアンテナで受信するものです。ダイバーシティをONにすると、メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブ用アンテナに切り換えて受信します。

FM放送を1つのアンテナで受信するときは、FMダイバーシティをOFFにしてください。ONにすると、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。

1 ダイバーシティ設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( ラジオ③)

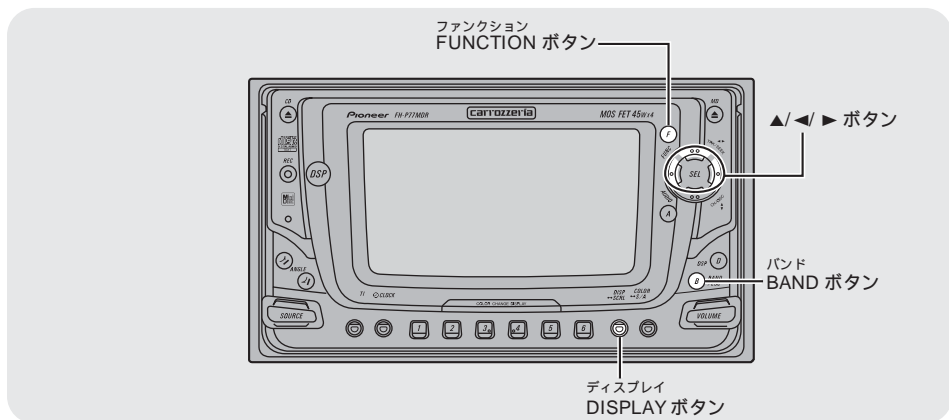


2 ダイバーシティの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



ラジオ 6 放送局名を選ぶ

放送局名選択

ラジオの放送局名を表示させる (☞ラジオ⑦) ために、あらかじめ放送局名を選んでおきます。

放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0MHz を使用している放送局は、“ TOKYO FM ”、“ FM 青森 ”、“ FM 福岡 ” など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 放送局名を変更する バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 20 ページ)

2 放送局名を表示させたい 放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 21 ページ)

3 放送局名選択モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ ラジオ③ 34 ページ)



約2秒間表示されます。

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名などを表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

5 放送局名を変更する

▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA” と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM653 など」) をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、“FM M-CD” の放送局名を選ぶことができます。

パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、“FM TVsound” の放送局名を選ぶことができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

放送局名表示



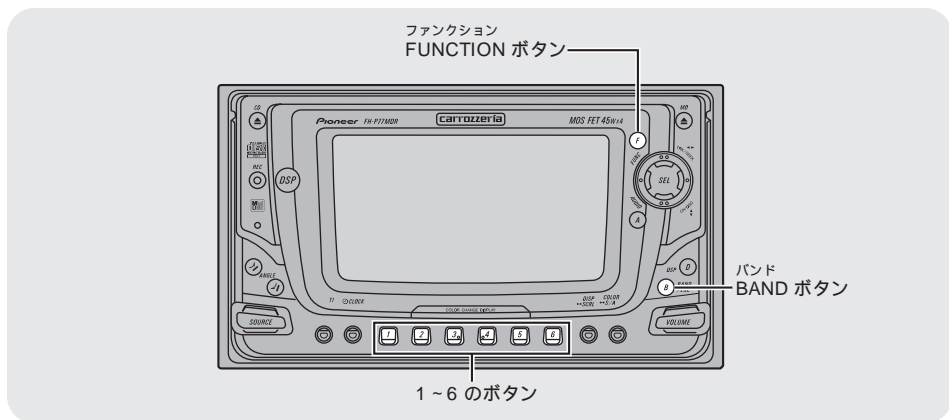
放送局名が表示されます。

受信周波数表示



受信周波数

放送局名表示に戻る



マルチCD 1 聞きたいCDを直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDを直接選ぶことができます。

1 聞きたいCDを選ぶ

1~6のボタンを押す

2秒未満：1~6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7~12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCD 2 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチCD ③ 40 ページ)

タイトルリストモード
(☞ マルチCD ⑩ 49 ページ)

ランダムモード (☞ マルチCD ⑤ 42 ページ)

スキャンモード (☞ マルチCD ④ 41 ページ)

ITS再生モード (☞ マルチCD ⑦ 44 ページ)

ポーズモード (☞ マルチCD ⑫ 49 ページ)

COMP切り換えモード
(☞ マルチCD ⑪ 48 ページ)

リピートモードに戻る

メモ
ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード¹
( マルチCD  46 ページ)

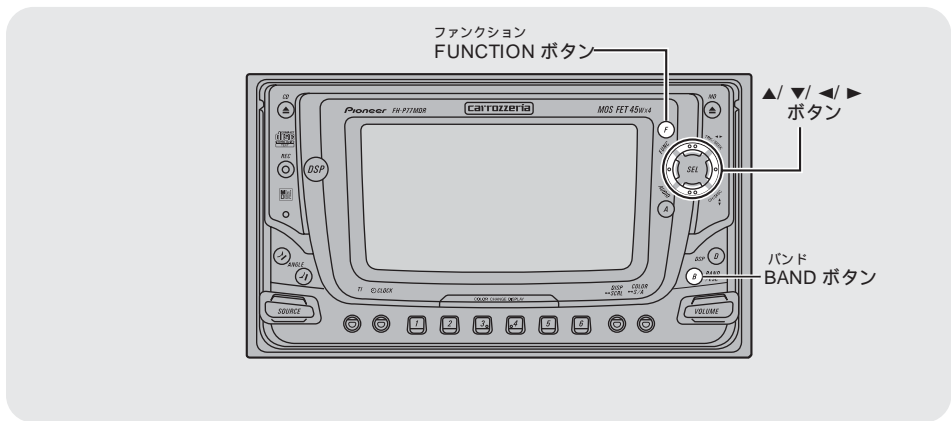
ITS入力モード
( マルチCD  43 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

¹「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。（「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。）



マルチCD 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

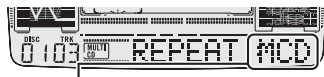
再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



MCD (マルチCDリピート)

TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD に戻る

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ② 38 ページ)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときに
表示されます。

トラックリピートのときは“RPT”、ディスク
リピートのときは“DISC”が表示されます。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを徐々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして
再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD③)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートまたはトラックリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら
スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD② 38 ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



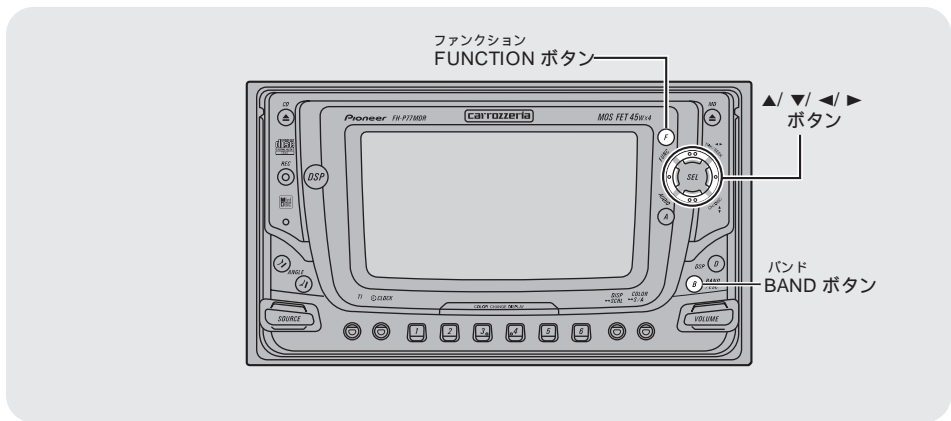
曲の始めの約10秒間が徐々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が表示されます。

表示	再生範囲
T.SCAN	ディスクリピート
D.SCAN	マルチCDリピート



マルチCD
5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲
を選ぶ (E3 マルチCD ④ 40 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモード
にする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD ② 38 ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。



ランダム再生の種類が表示されます。

表示	再生範囲
D-RDM	ディスクリピート
M-RDM	マルチCDリピート

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONに
すると、再生範囲がディスクリピートに切り換わ
ります。

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD⑦ 44ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ マルチCD⑦ 44ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は、記憶できません。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD⑩ 46ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ ここだけで⑤ 22ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD② 39ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す
(☞ ここだけで⑤ 23ページ)

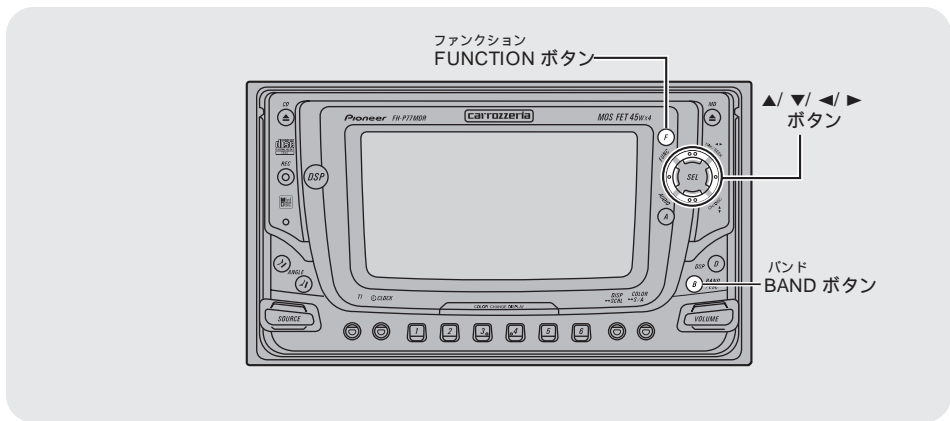
4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD **7** 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ マルチCD ④ 43 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD ③ 40 ページ)
選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ② 38 ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

マルチCD

8

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

( マルチCD ⑦)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

( ここだけで⑤ 23 ページ)

3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( マルチCD ② 39 ページ)



4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

9

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す


ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す

( ここだけで⑤ 22 ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。( マルチCD ⑦)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( マルチCD ② 39 ページ)



3 消去する

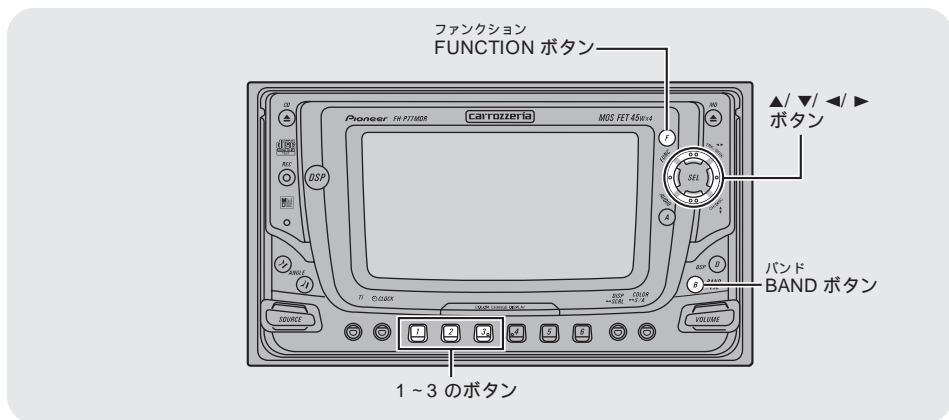
▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



マルチCD 10 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (☞ マルチCD ⑩ 50 ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (☞ マルチCD ⑩ 49 ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルで同様にタイトルリストをすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (☞ マルチCD ⑥ 43 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ ここだけで② 22 ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD ② 39 ページ)



約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

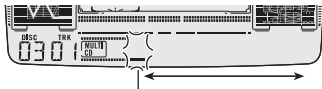
3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき



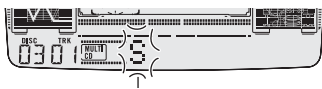
入力する位置でカーソルが点滅します。

入力する文字を選ぶとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1 ボタン (1 ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2 ボタン	数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など)、 空白 (_)
3 ボタン (3 ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア ~ ン)、 ハイフン (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

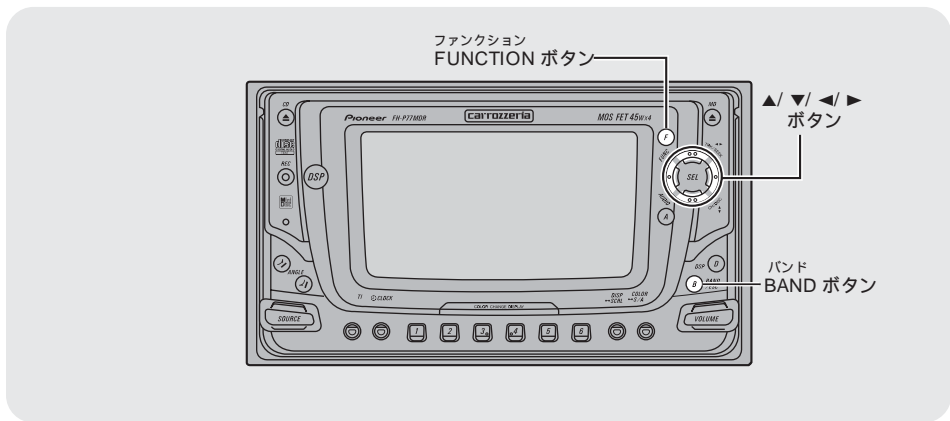


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



マルチCD 11 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

COMPとは、COMPRESSION (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD 2 38 ページ)



ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP 1 COMP 2

DBE 2 DBE 1 COMP OFF



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(▶ マルチCD ② 38 ページ)

2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(▶ マルチCD ② 38 ページ)

約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき

CD番号が 記憶されているタイトルが
点滅します。 表示されます。

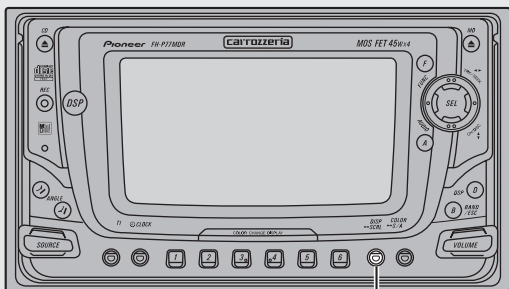
3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

マルチCD 14 CDのタイトルを 表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (P.46 マルチCD ⑩ 46 ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示



再生経過時間

ディスクタイトル表示



入力したタイトル

再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

マルチCD 15 「CD TEXT」のタイトル や歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトル、曲名などを表示させることができます。一度に10文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (ディスク名)

ディスクアーティストネーム (歌手名)

トラックタイトル (曲名)

トラックアーティストネーム (歌手名)

再生経過時間に戻る

例) ディスクタイトル (ディスク名) 表示



メモ

トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO TA-NAME」などが表示されます。

隠れている表示を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

録音する前に

録音する前に必ずお読みください。

録音についてのご注意



注意

録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。

本製品の故障、誤動作または不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

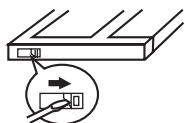
お問い合わせ先：社団法人 私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー11F

電話 (03) 5353-0336 FAX (03) 5353-0337

誤消去防止つまみについて

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音したいときは、つまみを閉じます。



デジタル録音とアナログ録音について

本機は、内蔵CDからMDへデジタル録音することができます。内蔵CD以外のソース(ラジオ、マルチCDなど)からの録音はアナログ録音になります。デジタル録音は、ほとんど劣化なく録音(コピー)でき、アナログ録音より高音質なため、CDからMDへの録音は内蔵CDからの録音(録音② 54ページ)をお勧めします。

TOC (Table of Contents) について

TOCとは、曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

MDに録音すると、TOCがディスクの内周部分に記録されます。再生やタイトル表示などはこれを使って行きます。TOCはMDを取り出したときにMDに記録されます。TOCの記録中(TOC WRITE 点滅中)に電源をOFFにしたり、本体に衝撃を与えたりしないでください。TOCが正しく記録されず、正しい再生ができなくなる場合があります。

メモ

録音中にDSPボタンを押しても、DSPボタンは働きません。

再生専用MDには、録音できません。

本機には、曲分け、曲つなぎ、曲移動などの編集機能はありません。

録音用MDの録音可能な録音時間が、録音しようとしているCDのディスクや曲のトータル時間より短い場合は、“Time Short”が表示され、MDのディスクの残り時間分のみ録音します。

録音は、すべてステレオ録音になります。モノラル録音はできません。

録音済みのMDでは、未録音部分を探して録音します。録音を終了したあとMDを取り出すと、“TOC.W”表示が点滅し、ディスプレイに“TOC WRITE”と点滅表示されます。このときにTOCがMDに記録されます。

録音済みのMDの内容を消すには(録音⑤ 60ページ)

次のような場合は、録音待機状態が解除されます。

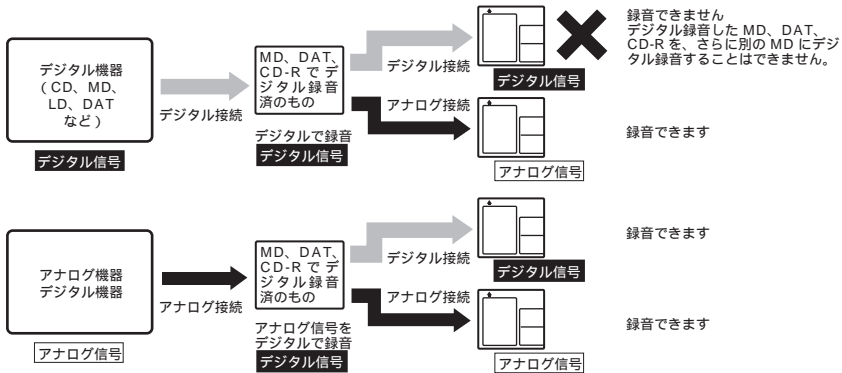
- * 電源をOFFにしたとき
 - * 車のエンジンをかけたとき
 - * ソースを切り換えたとき
 - * BAND、MD EJECT ボタンを押したとき
 - * CDを挿入したとき(内蔵CDから録音するとき以外)
 - * 録音元のソースとの接続が切れた場合(マルチCDから録音するときなど)
- 次のような場合は、録音が解除されます。
- * 車のエンジンをかけたとき
 - * RECボタンを押したとき
 - * 録音元のソースとの接続が切れた場合(マルチCDから録音するときなど)
 - * MDやCDのエラーのとき(録音⑤ その他⑤ 92ページ)
 - * 同じところで音飛びを3回起こしたとき(内蔵CDから録音するとき)

TOCに異常がある場合(MD ERR-24が表示されたとき)は、録音できません。他のMDと交換するか、全曲消去してから録音してください。いったん消去するとともに戻せません。消去する前にもう一度確認してください。

デジタルコピーについてのご注意

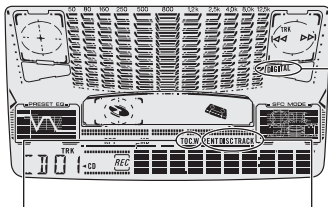
CDなどからデジタル録音したものを、さらにMDやDATなどにデジタル録音(コピー)することはできません。これは違法コピーを防止するために開発された複製防止システム(SCMS=シリアルコピーマネージメントシステム)により定められています。

本機では、内蔵CDでCD-Rを再生しているときに、録音できないことがあります。



録音時のディスプレイ表示について

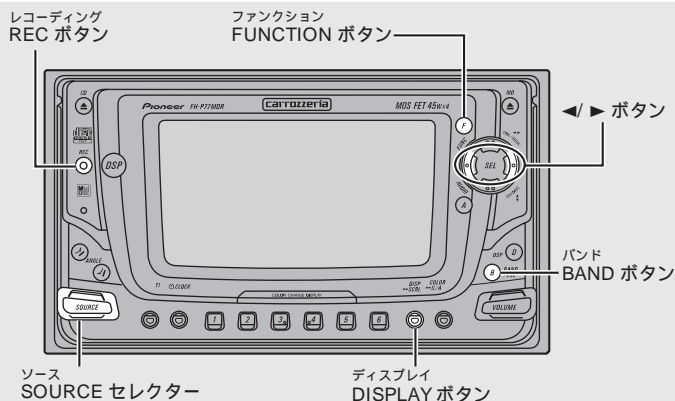
録音時に、録音範囲などの状態がディスプレイに表示されます。



DIGITAL 表示
内蔵CDから録音するときに表示されます。これが表示されているときは、デジタル録音になります。

TOC.W 表示
録音したり、タイトルを入力するなどTOCが作られると点灯します。MDを取り出すと点滅し、TOCがMDに記録されます。

RENT、DISC、TRACK 表示
録音範囲が表示されます。(録音範囲が"ALL"のときは、何も表示されません。)

録音
2

内蔵CD から CD を録音する

ディスク録音 / トラック録音 / レンタル録音

内蔵CDで再生した曲をMDに録音することができます。

録音範囲について

録音範囲は、次の中から選ぶことができます。

録音範囲	録音の内容
DSC (ディスク録音)	今聞いている曲からCDの最後の曲までを録音するとき、CDを全曲録音するには手順7で1曲目を選んでください。
TRK (トラック録音)	今聞いている曲を1曲だけ録音するとき
RNT (レンタル録音)	CDの最初の1曲のみ録音するとき。レンタル録音は、例えばヒットソング集を作るときに、何枚かのシングルCDの1曲目だけを録音することができ便利です。

レンタル録音のときは、フロントパネルをCD EJECT 位置にしておくとう便利です。
 (☞ はじめに⑦ 12ページ)

録音が終わると自動的にCDが出てきます。再度CDを挿入すると自動的に録音が始まり、録音が終わると自動的にCDが出てきます。(CDの1曲目だけを続けて何枚も録音したいときに便利です。)

1 録音用MDをセットする

(☞ ここだけで③ 18ページ)

2 ソースを内蔵CDにする

SOURCE セレクターを上下に押し
 (☞ ここだけで① 14ページ)

3 録音待機状態にする

REC ボタンを2秒以上押し
 “REC Ready” が表示されたあと、録音待機状態になります。このとき、ディスプレイが赤色 (CyberRed) になります。



MDの曲番号

MDのディスク残り時間

録音待機中に点滅します。

CDの情報：DISPLAY ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

録音範囲が “DSC” のとき

曲番号 再生経過時間 ディスク
 残り時間 ディスクトータル時間
 曲番号に戻る

録音範囲が “TRK”、“RNT” のとき

曲番号 再生経過時間 聞いている
 曲の残り時間 聞いている曲のトータル
 時間 曲番号に戻る

4 録音モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

録音モード (REC.MODE)

消去モード (ERASE MODE)

録音モードに戻る

5 録音範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押して選ぶ



RNT DSC TRK

6 録音モードを解除する

BAND ボタンを押す

(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

7 録音したい曲を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで② 16ページ)

確認

手順5で録音範囲を“DSC”にしたときは、今聞いている曲の頭から録音します。CDを全曲録音したいときは、1曲目を選んでください。

手順5で録音範囲を“TRK”にしたときは、今聞いている曲の頭から1曲のみ録音します。

手順5で録音範囲を“RNT”にしたときは、今何曲目を聞いていても、1曲目に戻って録音します。(◀または▶ ボタンを押しても自動的に1曲目を選曲します。)

8 録音する

REC ボタンを押す

自動的に曲の頭から録音されます。



録音中に点灯します。



録音が終わると表示され、録音待機状態に戻ります。

BAND ボタンを押して、録音待機状態を解除してください。

メモ

録音中にRECボタンを押すと、録音を中止することができます。

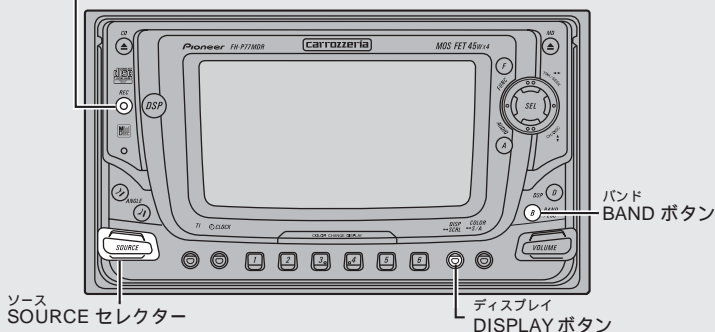
録音中にCDが音飛びした場合、その曲の頭に戻って録音をやり直します。(リトライ機能)

MDの254曲目でCDが音飛びした場合、その曲の頭からではなく、録音を開始した曲から録音をやり直します。

録音待機中は、今聞いている曲のリPEAT再生になります。録音を開始すると、リPEAT再生は解除されます。

ランダム、トラックスキャン、ポーズを設定しているときは、録音待機状態になるとリPEAT再生に切り換わります。録音を開始すると、リPEAT再生は解除されます。

録音待機中は、早送り/早戻し操作はできません。

レコーディング
REC ボタンソース
SOURCE セレクターディスプレイ
DISPLAY ボタンバンド
BAND ボタン録音
3

ラジオ/テレビを録音する

リカバリ録音

ラジオおよびテレビの放送をMDに録音することができます。録音開始が遅れても、最大15秒前までの放送を録音することができます。(リカバリ録音)

1 録音用MDをセットする

(☞ ここだけで③ 18ページ)

2 ソースをラジオ (またはテレビ) にする

SOURCE セレクターを上下に押す

(☞ ここだけで① 14ページ)

3 録音したい放送局を選ぶ

(☞ ここだけで④ 21ページ)

テレビの放送局を選ぶときは

(☞ テレビの取扱説明書)

4 録音待機状態にする

REC ボタンを2秒以上押す

“REC Ready”が表示されたあと、録音待機状態になります。このとき、ディスプレイが赤色 (CyberRed) になります。



MDの曲番号

MDのディスク残り時間

録音待機中に点滅します。

ラジオの情報：DISPLAY ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

受信中のバンド

受信周波数

受信中のバンドに戻る

メモ

録音待機状態にしたときから、放送をメモリーに蓄え始めます。メモリーは最大で15秒間まで蓄えることができます。

5 録音する

REC ボタンを押す

ボタンを押した時点より最大 15 秒前の放送から録音が始まります。



録音中に点灯します。

6 録音をやめる

REC ボタンを押す



録音をやめると表示され、録音待機状態に戻ります。

BAND ボタンを押して、録音待機状態を解除してください。

メモ

1 回の録音を 1 曲として、曲番が付きます。録音中に ▲ ボタンを押すと、曲番を付けたいところに手動で曲番を付けることができます。(曲番は最大 254 曲まで付けることができます。)

ラジオおよびテレビを録音するときは、録音範囲を選ぶことはできません。

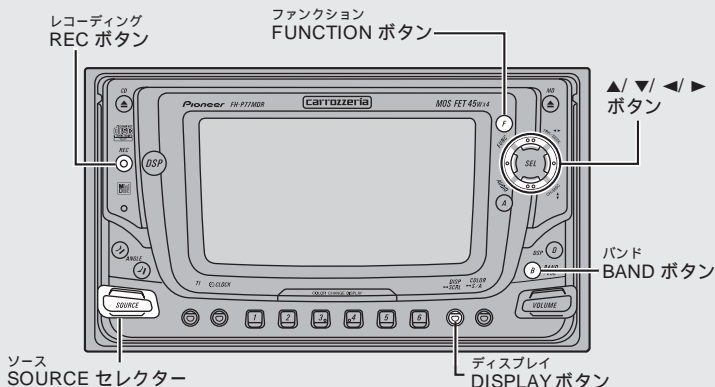
選局中は、録音を始められません。

リカバリー録音を OFF にすることはできません。

テレビの操作について詳しくは (P.58) テレビの取扱説明書)

AUX (外部機器) や External1、External2 (エクスターナルユニット) からも同様に録音することができます。それぞれの機器を接続し、録音用 MD をセットしたあと、手順 4 ~ 6 を参照して同様の操作で録音してください。なお、AUX (外部機器) や External1、External2 (エクスターナルユニット) では、リカバリー録音はできません。AUX (外部機器) や External1、External2 (エクスターナルユニット) の操作について詳しくは (P.58) それぞれの取扱説明書)

振動の多い道路などで録音すると、自動的に曲番が付くことがあります。

録音
4

マルチCD/MD からCD/MD を録音する

ディスク録音 / トラック録音

マルチCD / MDプレーヤーで再生した曲を録音することができます。

録音範囲について

録音範囲は、次の中から選ぶことができます。

録音範囲	録音の内容
ALL (連続録音)	今聞いている曲からディスクの最後の曲までを録音するとき。曲およびディスクの頭出しはしません。手順9で録音をやめないと、録音は終了しません。
TRK (トラック録音)	今聞いている曲を1曲だけ録音するとき。曲の頭出しはしません。

ご注意

マルチCD / MDからの録音は、録音範囲にかかわらず、曲やディスクの頭出しをしません。RECボタンを押した時点(手順8)から録音が始まるので、曲やディスクの始めから録音したいときは、手順7のあとすばやくRECボタンを押す必要があります。

また、マルチCD / MDからの録音はアナログ録音です。デジタル録音に比べると、音質が劣ることがあります。

CDから録音するときは、内蔵CDから録音(デジタル録音)することをお勧めします。

2 ソースをマルチCD (またはマルチMD) にする

SOURCEセレクターを上下に押す
(☞ ここだけで① 14ページ)

3 録音待機状態にする

RECボタンを2秒以上押す

“REC Ready”が表示されたあと、録音待機状態になります。このとき、ディスプレイが赤色(CyberRed)になります。



MDの曲番号
MDのディスク残り時間

録音待機中に点滅します。

CDの情報：DISPLAYボタンを押すごとに次のように切り換わります。

CD番号/曲番号 再生経過時間
CD番号/曲番号に戻る

メモ

マルチCDで、ポーズ設定をONにしているときは、録音待機状態に切り換わりません。(☞ マルチCD② 49ページ)

1 録音用MDをセットする
(☞ ここだけで① 14ページ)

4 録音モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



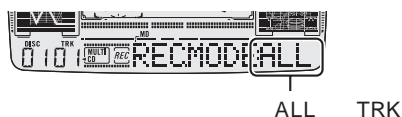
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
録音モード (REC.MODE)

消去モード (ERASE MODE)

録音モードに戻る

5 録音範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押して選ぶ



6 録音モードを解除する

BAND ボタンを押す

(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

7 録音したいディスクおよび曲を選ぶ

ディスクを選ぶとき

▲または▼ ボタンを押す
(④ ここだけで ⑤ 22 ページ)

曲を選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す
(④ ここだけで ⑤ 23 ページ)

メモ

マルチ MD での操作については (④ マルチ MD の取扱説明書)

8 録音する

手順7のあと、すばやく REC ボタンを押す

REC ボタンを押した時点から録音が始まります。(曲の頭出しはしません。)



録音中に点灯します。

手順5で録音範囲を“TRK”にしたときは、録音が終わると、自動的に録音待機状態に戻ります。録音範囲を“ALL”にしたときは、最後の曲が終了しても、録音が終了しません。手順9の操作をしてください。

9 録音をやめる

REC ボタンを押す



録音をやめると表示され、録音待機状態に戻ります。

BAND ボタンを押して、録音待機状態を解除してください。

メモ

録音元のCDおよびMDの音が一定レベル以下の状態が続くと、自動的に曲番が付きます。また、録音中に▲ボタンを押すと、曲番を付けたいところに手動で曲番を付けることができます。(曲番は最大254曲まで付けることができます。)

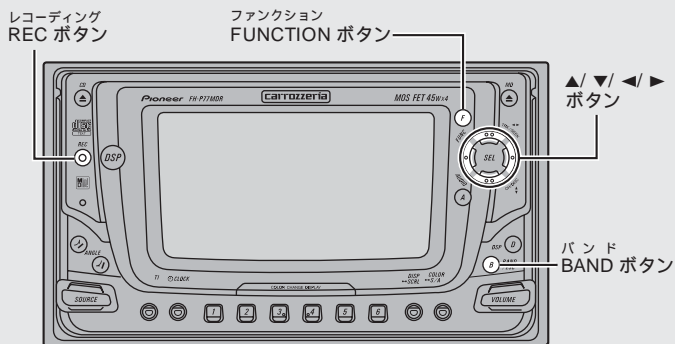
録音元のCDおよびMDによっては、曲の途中を終わりと判断したり、曲の終わりの判断ができない場合があります。

録音中にCDおよびMDが音飛びした場合、そのまま録音されます。

マルチCDでITS再生 (④ マルチCD ⑦ 44 ページ) を使うと、記憶させた曲だけを録音することができます。

マルチMDの操作について詳しくは (④ マルチMD プレーヤーの取扱説明書)

振動の多い道路などで録音すると、自動的に曲番が付くことがあります。

録音
5

曲を消去する

1 曲消去 / 全曲消去

録音した曲を1曲ずつ、または全曲消去することができます。

1 消去したいMDを入れる

(☞ ここだけで③ 18 ページ)

2 内蔵MD以外のソースに切り換える

(☞ ここだけで① 14 ページ)

3 録音待機状態にする

REC ボタンを2秒以上押す

4 消去モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

録音モード (REC.MODE)

消去モード (ERASE MODE)

録音モードに戻る

5 消去する

1 曲ずつ消去するとき

◀または▶ ボタンで消去する曲を選ぶ



曲番号が表示されます。

▲ ボタンを押す



確認画面が表示されます。

いったん消去すると元に戻せません。もう一度確認してください。

消去をやめるときは、▼ ボタンを押すと中止できます。

もう一度 ▲ ボタンを押す



消去中に表示され、選んだ曲が消去されます。

BAND ボタンを押して、消去モードを解除

してください。(約30秒間何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

もう一度BANDボタンを押して、録音待機状態を解除してください。

全曲消去するとき

▲ ボタンを2秒以上押す

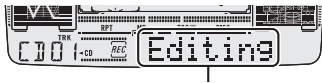


確認画面が表示されます。

いったん消去すると元に戻せません。もう一度確認してください。

消去をやめるときは、▼ボタンを押すと中止できます。

もう一度▲ボタンを押す



消去中に表示され、MDの内容すべてが消去されます。

BANDボタンを押して、消去モードを解除してください。(約30秒間何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

もう一度BANDボタンを押して、録音待機状態を解除してください。

メモ

いったん消去すると元に戻せません。消去する前にもう一度確認してください。

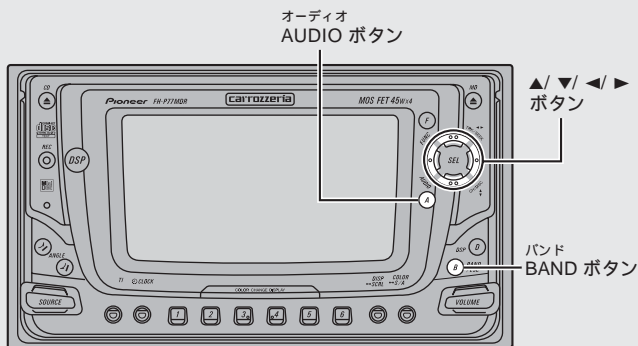
曲を消去すると次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。

1曲ずつの消去では、すべての曲を消去してもディスクの録音可能な時間が短くなることがあります。この場合は、全曲消去してすべての内容を消去してください。

MDの内容がすべて消去されると“Blank MD”と表示されます。

“Protected”が表示された場合、ディスクが誤消去防止状態になっています。(録音 52 ページ)

TOCの異常などで曲番が認識できない場合は、消去モードにすると“ERASE MODE”と表示されたままになります。このとき▲ボタンを2秒以上押すと全曲消去になります。1曲ずつの消去はできません。



音の調節

1

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1

瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押す
(はじめに① 7ページ)
ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。
アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

音の調節

2

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1

オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
音量バランス調節モード (音の調節③)
ラウドネスモード (音の調節④)

SLAモード ¹ (音の調節⑤ 64ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)


¹ ラジオのFM放送を聞いているときは、SLAモードには切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節②)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF25 ~ R25の範囲で調節
できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節
できます。


BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード
を解除してください。

小音量時の音に メリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音
の不足感を補正して、メリハリのある音に
することができます。

1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節②)

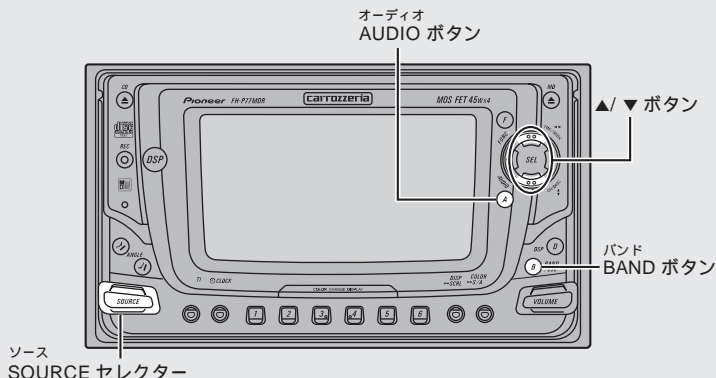


2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード
を解除してください。



音の調節

5

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE セレクターを上下に押す
(ここだけで④ 20 ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE セレクターを上下に押す
(ここだけで① 14 ページ)

3 SLA モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節② 62 ページ)



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

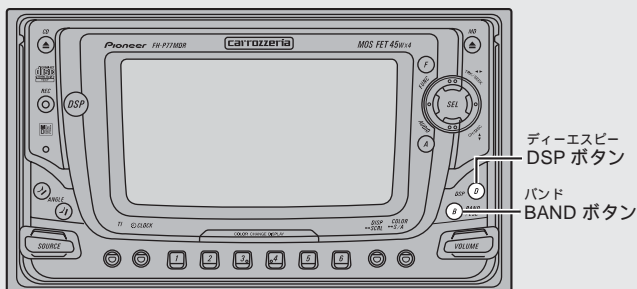
BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、External1、External2 (エクスターナルユニット)のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMD、External1とExternal2、およびAMと交通情報(便利な機能① 78 ページ)は同じ設定になります。



DSP 調節 1 DSP 調節モードの切り換えかた

DSP の機能を使って音場と音質を調節するときは、DSP 調節モードに切り換えて操作します。

DSP 調節モード 1 の切り換え

1 DSP 調節モード 1 を切り換える

DSP ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

グラフィックイコライザーモード
(DSP 調節 ④ 70 ページ)

イコライザー調節モード ¹
(DSP 調節 ④ 72 ページ)

SFC モード
(DSP 調節 ⑦ 75 ページ)

リスニングポジションセレクターモード
(DSP 調節 ② 68 ページ)

グラフィックイコライザーモードに戻る

メモ

DSP 調節モード 1 を解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹グラフィックイコライザーモードで“CUSTOM”を選んだときだけイコライザー調節モードに切り換わります。

DSP 調節モード 2 の切り換え

1 DSP 調節モード 2 にする

DSP ボタンを 2 秒以上押す

2 DSP 調節モード 2 を切り換える

DSP ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

サブウーファーモード ²
(DSP 調節 ⑧ 76 ページ)

サブウーファー調節モード ^{2 3}
(DSP 調節 ⑧ 76 ページ)

ハイパスフィルターモード
(DSP 調節 ⑥ 74 ページ)

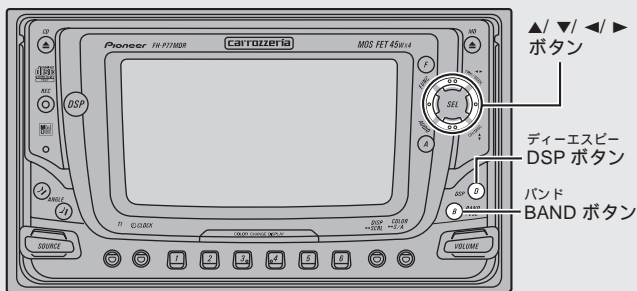
サブウーファーモードに戻る

メモ

DSP 調節モード2を解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

²RCA 外部出力の設定 (便利機能 82 ページ) をリア出力にした場合は、サブウーファーモード、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

³サブウーファーモード (DSP 調節 76 ページ) をOFFにした場合は、サブウーファー調節モードには切り換わりません。



DSP 調節
2

音場の中心で聞く

リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセクターについて



リスニングポジションセクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

表示	乗車位置
FRONT-R	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT-L	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT	同乗者が助手席にいるとき
ALL	同乗者が後部座席にいるとき

乗車位置について



FRONT-R

FRONT-L

FRONT

ALL

1 リスニングポジションセクターモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

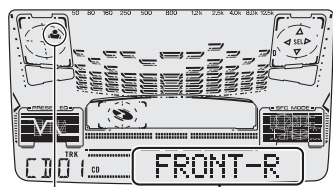
(※ DSP 調節 ① 66 ページ)



2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀、▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。

- ▶ : FRONT-R
- ◀ : FRONT-L
- ▲ : FRONT
- ▼ : ALL

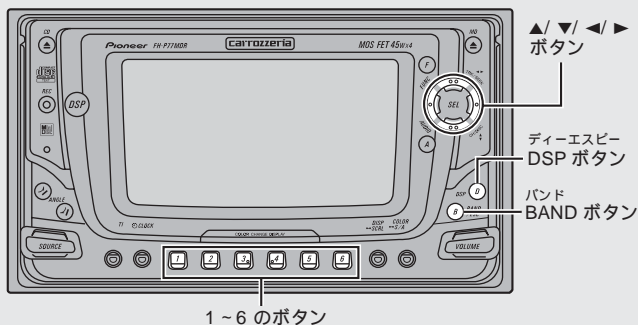


ポジション マークが表示
選んだ乗車位置 が表示されます。
されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード 1
を解除してください。

メモ

リスニングポジションごとに、音量バランス (☞ 音の
調節 ③ 63 ページ) を記憶させることができます。



DSP 調節 3 音楽に合った音質を設定する

グラフィックイコライザー

音楽ジャンルに合わせて設定されているもの5種類（ファクトリーカーブ）と自分で設定できるもの（CUSTOM）の中からイコライザーカーブを選ぶことができます。

FLATとCUSTOM について

FLAT (6 のボタン)

何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確かめるのに使くと便利です。

CUSTOM (5 のボタン)

ニュアンスコントロール (DSP 調節④) やイコライザー調節 (DSP 調節⑤ 72 ページ) により、イコライザーカーブをお好みに応じて調節し、記憶させることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節① 66 ページ)



2 イコライザーカーブを切り換える

直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

1 ~ 4, 6 のボタン : ファクトリーカーブ
5 のボタン : CUSTOM

順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ROCK (1 のボタン) POPS (2 のボタン)

FLAT (6 のボタン) HIPHOP (3 のボタン)

CUSTOM (5 のボタン) TECHNO (4 のボタン)



BAND ボタンを押して、DSP 調節モード1を解除してください。

メモ

交通情報 (便利な機能① 78 ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさず、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

( DSP 調節① 66 ページ)

2 補正したいイコライザーカーブに切り換える

( DSP 調節③)

直接呼び出す

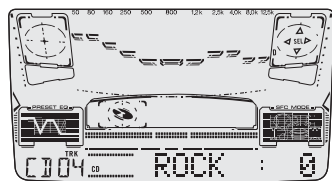
1 ~ 6 のボタンの1つを押す

順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す

ご注意

FLATおよび、FLATが記憶されているCUSTOMを補正することはできません。

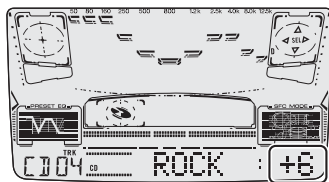


3 イコライザーカーブを補正する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 効果を強めるとき

▼ : 効果を弱めるとき



- 5 ~ +6 の範囲で調節できます。

(CUSTOMは - 6 ~ +6 の範囲で調節できます。ただし、記憶されているカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。)

4 お好みにより、補正したイコライザーカーブを記憶させる

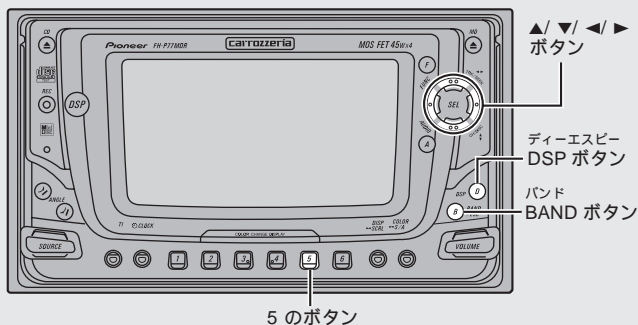
5 のボタンを2秒以上押す

5 のボタンに記憶されます。

ご注意

補正したイコライザーカーブを残しておきたいときは、CUSTOM (5 のボタン) に記憶させてください。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード1を解除してください。



DSP調節 5 イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

CUSTOMは、お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSPボタンを押して選ぶ
(DSP調節 ● 66 ページ)



2 イコライザーカーブをCUSTOMにする

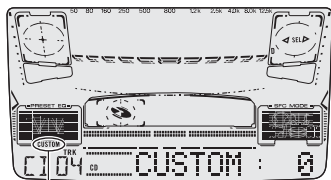
直接呼び出す

5のボタンを押す

順番に呼び出す

◀または▶ボタンを押して選ぶ

(DSP調節 ● 70 ページ)

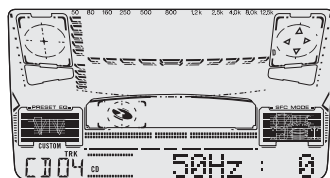


“CUSTOM” を選ぶと表示されます。

3 イコライザー調節モードにする

DSPボタンを押す

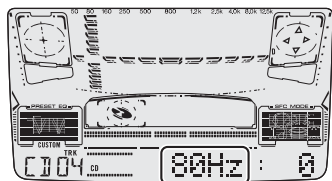
“CUSTOM” を呼び出したときだけ、イコライザー調節モードに切り換わります。



4 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



周波数は、次の中から選べます。

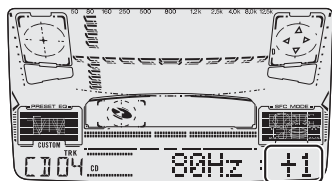
50、80、160、250、500、800、1.2k、
2.5k、4.0k、8.0k、12.5k (Hz)

レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：効果を強めるとき

▼：効果を弱めるとき

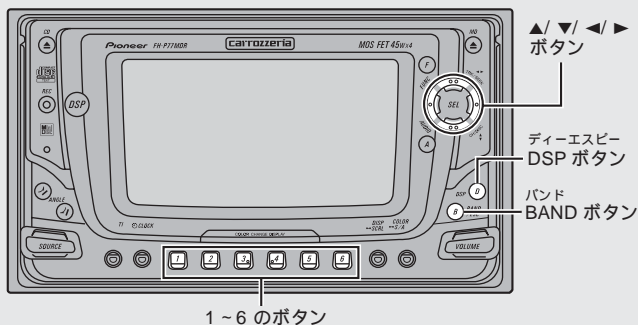


レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード1を解除してください。

メモ

調節したイコライザーカーブ (CUSTOM) は、ソースごとに記憶されます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMD、およびExternal1とExternal2は同じ設定になります。また、一度も調節をしていないソースでは、最後に他のソースで調節した内容がCUSTOMに記憶されます。



DSP 調節
6

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数について

50、80、125 (単位: Hz) から選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

1 ハイパスフィルターモードにする

DSP ボタンを 2 秒以上押してから、DSP ボタンを押して選ぶ (DSP 調節 ① 66 ページ)



2 ハイパスフィルターを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



3 ハイパスフィルターの カットオフ周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード 2 を解除してください。

イメージに合った演奏会場を再現する

SFC / OCTAVER

SFCで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、OCTAVERで重量感のある音を楽しむことができます。

SFCについて

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。STUDIOやDOMEなど、4つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

OCTAVERについて

サブウーファー帯域の超低音域を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聞くことができます。OCTAVER2の方がOCTAVER1より低音を強調する効果があります。

1 SFCモードにする

DSPボタンを押して選ぶ
( DSP調節 ① 66ページ)



2 音場プログラムを選ぶ

直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンを押す (同じボタンをもう一度押すとOFF)

順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

SFC OFF STUDIO (1のボタン)

CLUB (2のボタン)

OCTAVER2
(6のボタン)

CONCERT (3のボタン)

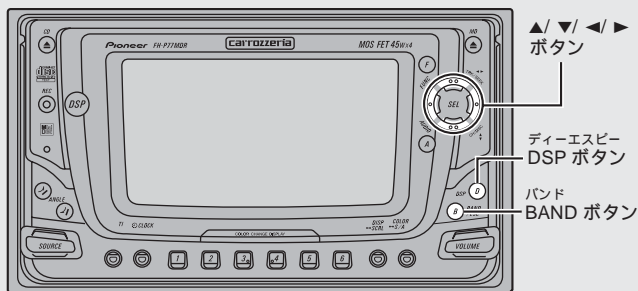
OCTAVER1
(5のボタン)

DOME (4のボタン)



音場プログラムを選ぶ则表示されます。

BANDボタンを押して、DSP調節モード1を解除してください。



DSP調節 8 サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、80、125(単位:Hz)から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファーモードにする

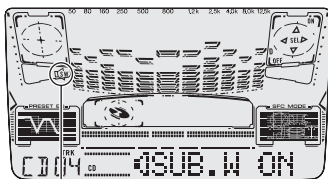
DSPボタンを2秒以上押してから、DSPボタンを押して選ぶ

(※ DSP調節 66ページ)



2 サブウーファーをONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

- ◀ または ▶ ボタンを押す
- ▶ : PHASE : NOR (正相)
- ◀ : PHASE : REV (逆相)



REVとNORに切り換えることができます。

4 サブウーファー調節モードにする

DSPボタンを押す



5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

- ◀ または ▶ ボタンを押す
- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

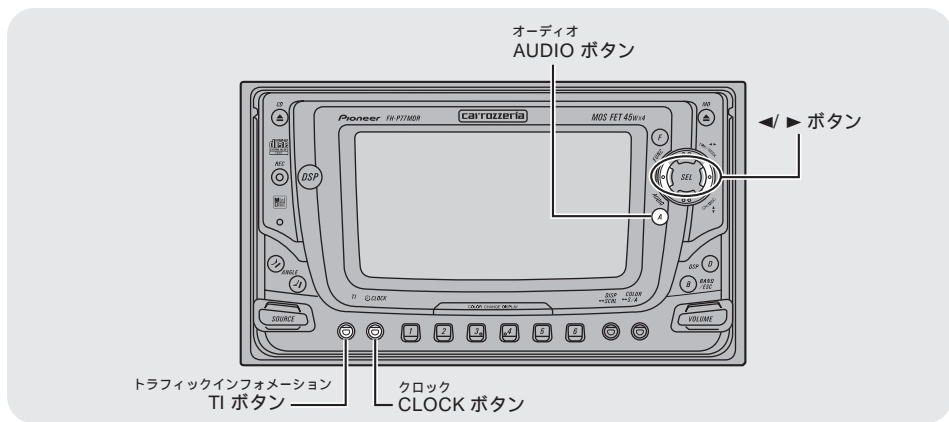


レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード 2 を解除してください。

メモ

RCA 外部出力の設定 (※) 便利な機能 ⑦ 82 ページ) をリア出力にした場合は、サブウーファーモード、サブウーファー調節モードには切り換わりません。サブウーファー機能を OFF にした場合は、サブウーファー調節モードには切り換わりません。



便利な機能 1 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

TI ボタンを押す



交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするとき

◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。交通情報を受信すると、SFC (DSP調節 75 ページ) がOFFになり、イコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめるとSFCおよびイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

時計、カレンダーを表示させる

時計表示 / カレンダー表示

時計またはカレンダーを表示させることができます。

1 表示を切り換える

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにディスプレイが切り換わります。

各ソースの表示 (例：内蔵CD)



時計表示



カレンダー表示



各ソースの表示に戻る

メモ

電源がOFFのときでも、ディスプレイに時計またはカレンダーを表示することができます。CLOCK ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計表示 カレンダー表示 電源OFF

時計表示に戻る

また、このときCOLORボタンを押してバックライトの色を変えることもできます。(☞ 便利な機能 85ページ)

時計表示、カレンダー表示のときに他の操作をすると、時計表示、カレンダー表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示、カレンダー表示に戻ります。

ディスプレイの明暗を調節する

コントラスト

ディスプレイの明暗を、お好みに合わせて変更することができます。

1 コントラスト調節モードにする

AUDIO ボタンを2秒以上押す



2 明暗を調節する

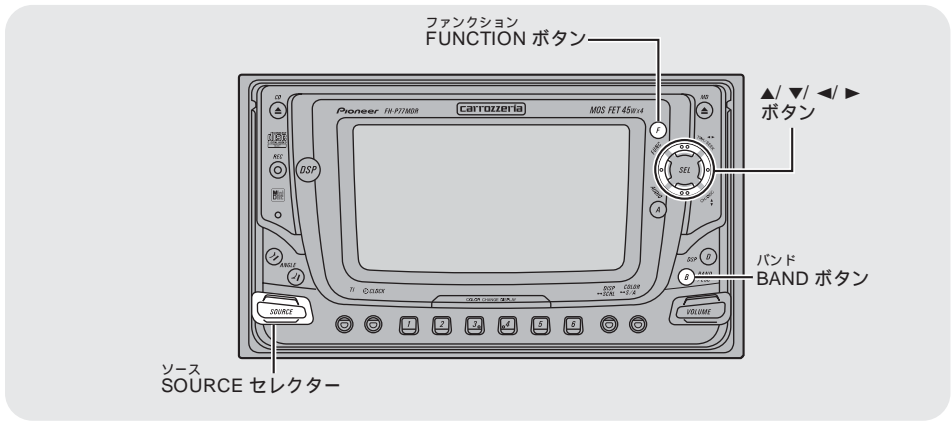
◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 明暗の差をはっきりさせるとき
- ◀ : 明暗の差を小さくするとき



- 7 ~ + 7 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、コントラスト調節モードを解除してください。



便利な機能

4

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1

電源を OFF にする

SOURCE セレクターを上下に押す
(☞ はじめに ① 14 ページ)

2

初期設定モードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

3

初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード
(☞ 便利な機能 ⑤)

カレンダー調節モード
(☞ 便利な機能 ⑥)

AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能 ⑨ 83 ページ)

ディマーモード
(☞ 便利な機能 ⑧ 82 ページ)

RCA 外部出力モード
(☞ 便利な機能 ⑦ 82 ページ)

デジタルアッテネーターモード
(☞ 便利な機能 ⑩ 84 ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能④)



2 時計の設定をする

時、分を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



押すごとに時、分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を戻すとき



時または分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

日付を合わせる

カレンダー

日付を合わせることができます。

1 カレンダーモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能④)



2 年月日の設定をする

年、月、日を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



押すごとに年、月、日が切り換わります。

日付を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：数字が増加します

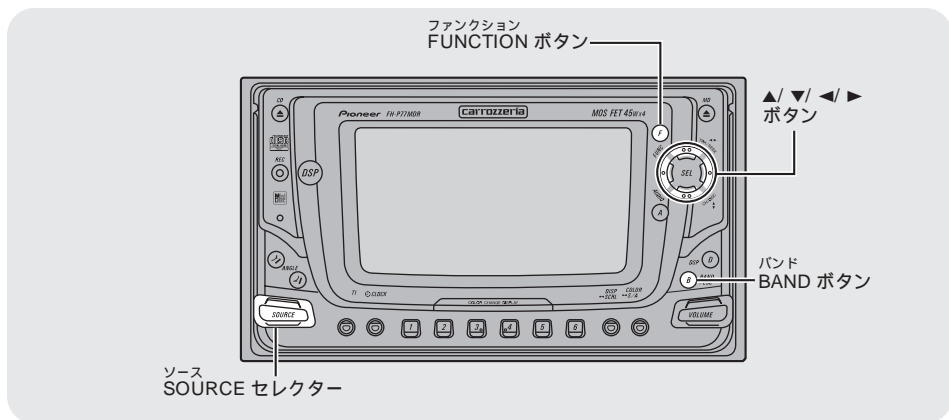
▼：数字が減少します



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

年は2000年～2099年までの範囲内で設定できます。



7 便利な機能 RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のリア出力またはサブウーファー出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

1 RCA 外部出力モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能④ 80ページ)



2 接続するスピーカーに合わせて選択する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : (S/W) サブウーファーを接続するとき
- ◀ : (RER) リアスピーカーを接続するとき



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

リアスピーカーに設定したときは、サブウーファーの調節 (☞ DSP 調節③ 76ページ) はできません。

8 便利な機能 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

デーマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとデーマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 デーマーモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能④ 80ページ)



2 デーマーの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能④ 80ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCEセレクターを上下に押す

(☞ ここだけで① 14ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCEセレクターを上下に押す

(☞ ここだけで① 14ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTIONボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

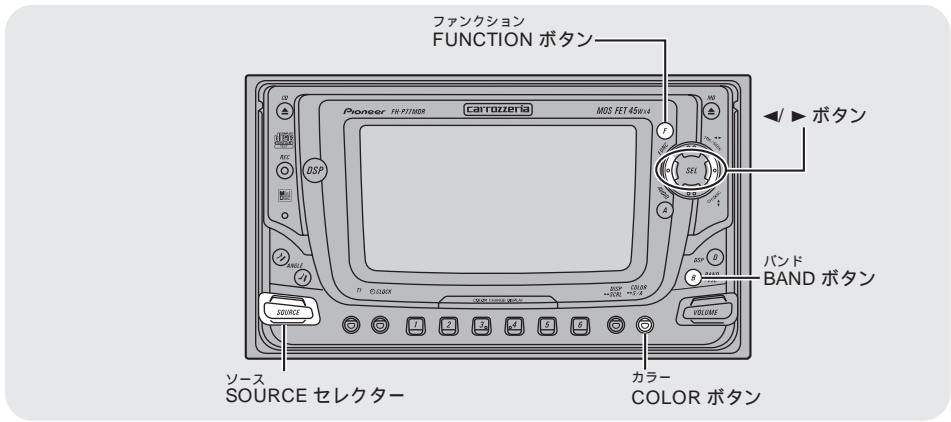
3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(☞ マルチCD⑩ 46ページ)

例) “DAT”を入力した場合



“AUX”の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。



便利な機能
11

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (DSP 調節 72 ページ) による音の歪みをなくすることができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定 (DSP 調節 72 ページ) でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を L に切り換えてください。

1 デジタルアッテネーターモードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (便利な機能 80 ページ)



2 設定を選ぶ

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : H (HIGH) を選ぶとき
- ◀ : L (LOW) を選ぶとき



便利な機能
12

スペアナ表示を切り換える

スペアナ切り換え

各ソースを聞いているときに、6種類のスペアナ表示を楽しむことができます。

1 聞きたいソースを選ぶ

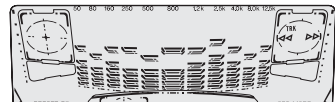
SOURCE セレクターを上下に押す (ここだけで 14 ページ)

スピーカーから音が出力されている状態にします。

2 スペアナ表示を切り換える

COLOR ボタンを 2 秒以上押して選ぶボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

スピード 1



レインフォール



ディスプレイのバックライトの色を変えることができます。

ウィンド



シンクロスコープ



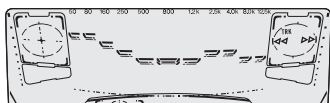
スピード2



イコライザーカーブ

現在設定されているイコライザーカーブが表示されます。(DSP調節④ 70ページ)

例) ROCK表示



スピード1に戻る

1

ディスプレイの色を変える

COLOR ボタンを押して選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

WhiteBlue

OceanBlue

DeepBlue

Aquamarine

LeafGreen

PureYellow

PaleOrange

CyberRed

ActivePink

CoolViolet

Rainbow ¹

WhiteBlue に戻る

メモ

¹15秒おきに WhiteBlue ~ CoolViolet の全10色を順に切り換えて表示します。

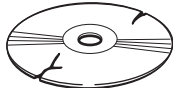
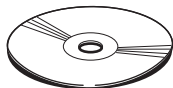
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

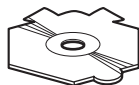
下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をご使用ください。



ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-Rディスクは、正常に再生できない場合があります。

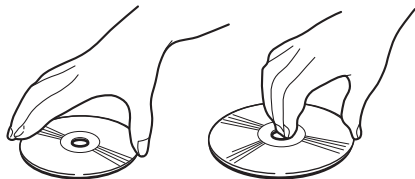
音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-Rディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-Rディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



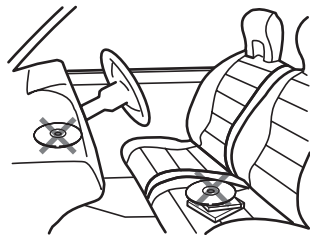
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

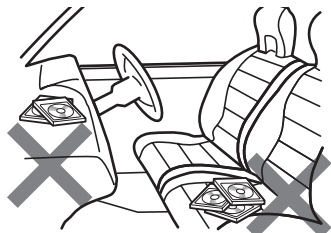
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあげるとこわれることがあります。



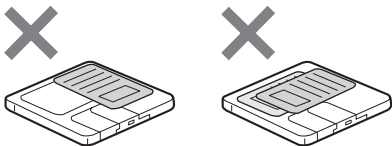
保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

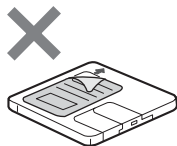


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができなくなることがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてく
ださい。(☞ はじめに⑥ 11
ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他③ 89ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものとの交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤ 17、19、21、23ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 音の調節① 62ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 63ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 63ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 63ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 87 ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 87 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 16 ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDに曇りや水滴がついている。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで③ 18 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 21 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 21 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 21 ページ)

CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「CD ERR-11」「CD ERR-12」 「CD ERR-17」「CD ERR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 87ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「CD ERR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「CD ERR-10」「CD ERR-11」 「CD ERR-12」「CD ERR-14」 「CD ERR-17」「CD ERR-30」 「CD ERR-50」「CD ERR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「MD ERR-11」「MD ERR-12」 「MD ERR-17」「MD ERR-30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「MD ERR-20」 「MD ERR-21」	振動などが原因で曲の情報を 読み取れなかったとき。 MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直し てください。それでも同じメッセー ジが表示される場合は、他のMDと 交換してください。
「MD ERR-22」 「MD ERR-24」	MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	他のMDと交換してください。
「MD ERR-23」	音楽以外の情報が記録された MDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してくだ さい。
「MD ERR-01」「MD ERR-11」 「MD ERR-12」「MD ERR-17」 「MD ERR-30」「MD ERR-A0」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFに してからONにするか、MD再生を一 度やめて、もう一度MD再生にして ください。
「MD ERR-A1」 「MD ERR-A4」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタ ンを押して (E はじめに⑥ 11 ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生し ないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 (E はじめに⑥ 11 ページ)
「Blank MD」	何も録音されていないMDを 挿入したとき。	録音するか、他のMDと交換してく ださい。

メモ



マルチMD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチMDの取扱説明書をご覧ください。

録音時のエラー表示


録音が正常にできないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「UTOCHERR」	ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく書き込まない。	もう一度MDを再生してから、MDを取り出してみる。
「Disc Full」	MDに録音できる空きがないとき。	全曲消去し、録音をやり直すか、他の録音用MDと交換してください。
「Track Full」	254曲をこえて録音しようとした(1枚のMDには254曲までしか録音できません)。	全曲消去し、録音をやり直すか、他の録音用MDと交換してください。
「Can't Copy」	CD-Rなどコピー禁止のものから録音しようとしたとき。	コピー可能なもの(一般のCDなど)に交換してください。
「No Signal」	MDにデジタル入力信号を入力できないとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、リセットボタンを押してください。(☞ はじめに⑥ 11ページ)
「Name Full」	ディスク名、曲名を入力する空きがないとき。	ディスク名、曲名を短くしてください。
「CD-ROM」	CD-ROMから録音しようとしたとき。	音楽CDに交換してください。
「Retry」	CDの音飛びがおきたとき。	CDの汚れ、曇り、水滴をふき取ってください。(☞ その他① 87ページ)
「Defect」	CDの音飛びが同じところで3回おきたとき。	CDを交換してください。
「MemoryOver」	振動などでMDに書き込みができないとき。	もう一度録音をやり直してください。
「Blank MD」	MDに何も記録されていないとき。	再生するときは、録音されたMDに交換してください。

録音時のエラー表示 (つづき)

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「Time Short」	MDのディスク残り時間が、録音しようとした曲やディスクより短いとき。	他の録音用MDと交換してください。
「TrackShort」	MDの録音できる残り曲数が、録音しようとした曲数より少ないとき。	他の録音用MDと交換してください。
「Protected」	誤消去防止状態のとき。	誤消去防止つまみを閉じてください。 ( 録音 ① 52 ページ)
「Can't REC」	再生専用ディスクに録音しようとしたとき。	他の録音用MDと交換してください。
「MD ERR-」	MDのエラーのとき。	MDのエラー表示を参照してください。 ( その他 ⑨ 93 ページ)
「CD TOC ERR」	CDのTOCを読み込めないとき。	CDを交換してください。
「HOT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「M-CD HEAT」	マルチCDの内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「M-MD HEAT」	マルチMDの内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

内蔵CDから録音中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、CDのエラー表示 ( その他 ⑨ 92 ページ) をご覧ください。

マルチCD、およびマルチMDから録音中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDおよびマルチMDの取扱説明書をご覧ください。

こんなメッセージが表示されたら(つづき)

MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法によって、次のような症状がでることがあります。これらは、システム上の制約によるもので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間または最大曲数(254曲)になっていないのに“Track Full”が表示される。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したりすると、曲数が最大(254曲)になっていなくても、TOCの情報がいっぱいになるので録音できなくなります。(このようなMDは全曲消去すれば最初から使用できます。)
MDの最大録音時間になっていないのに“Disc Full”が表示される。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。したがって、1曲ずつの消去ですべての曲を消去してもディスクの録音可能な時間が短くなる場合があります。この場合は、全曲消去してすべての内容を消去してください。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
録音した曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがある。	録音、消去を繰り返し行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 45 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

11バンド

イコライザー

周波数 : 50 Hz、80 Hz、160 Hz、
 250 Hz、500 Hz、800 Hz、
 1.2 kHz、2.5 kHz、4.0 kHz、
 8.0 kHz、12.5 kHz

11バンド

イコライザー

調整幅 : ± 12 dB

ネットワーク

ハイパス

フィルター : 周波数 : 50 Hz、80 Hz、125 Hz
 スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力 : 周波数 : 50 Hz、80 Hz、125 Hz
 スロープ : - 18 dB/oct.
 調整幅 : ± 6 dB
 位相 : NOR (正相)/REV (逆相)

ラウドネス

コンター : 10 dB (100 Hz)、
 7 dB (10 kHz)
 (ボリューム : - 30 dB)

負荷

インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)

プリアウト

最大出力レベル : 2 V

出力インピー

ダンス : 1 k

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク
 信号

フォーマット : サンプル周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16 ビット直線

周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 94 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ : 92 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
 オーディオシステム

使用ディスク : ミニディスク
 信号

フォーマット : サンプル周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16 ビット直線

周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 90 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ : 90 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (0.8 μ V/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.4 μ V/75 、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (\pm 9 kHz)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
160 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) \times 95 (H) \times 18 (D) mm
質量 : 3.0 kg (コードユニット含まず)

付属品

リモコン : 1
単4形
乾電池 (R03) : 2
コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00C00F0I01 > < CRA2967-B >